

令和8年度

# 運営に関する計画

立案



大阪市立加美東小学校

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校では、教育目標「たくましい子 なかよくする子 考える子」を掲げ、「子どもたちが人と人とのつながりを大切にし、夢や希望を持って力強く、どんな困難も乗り越えて欲しい」との願いを込めて教育活動に取り組んできた。これまでに子どもたちの学力の伸び悩みや子どもどうしが信頼しあう関係づくりが弱くなった時期あった。子どもたちを第一に考え、教職員で授業力を向上させるために研修を重ね、図書館やトイレなど校内の施設環境を改善するなど、子どもたちが豊かな心で、自ら学ぶ子どもを育てる学校づくりをし、課題を克服してきた。また、学校の方針や対応姿勢を地域・保護者に理解していただきながら穏やかな学校運営がなされてきた。学力面では、「知的好奇心を高める授業の探求」を研究テーマに定め、子どもたちの達成感や充実感を高める取り組みを推進してきた。結果として、学力が向上し、令和7年度全国学力学習状況調査において、国語と算数は全国平均を上回った結果となっている。小学校学力経年調査では、どの学年も大阪市平均と同水準となっている。また、学校生活面においても、登校時はほぼ全員、時間内に登校ができており、集会なども集合時間を守る、掃除も熱心にする。授業も落ち着いて学習でき、なかよく助け合うなど子どもたちの素晴らしい成長の姿が見られるようになってきた。

創立50周年を迎える本年、これまで地域の見守り隊の皆様のおかげで、子どもたちは無事故で安全に登校することができている。これからもあいさつの大切さを伝え、安心・安全な学校生活を送るために「子どもの命を守る」ことを最優先課題として取り組んでいく。また、学力体力の向上については、学習面では、基礎基本の定着を図った上で、自分の考えをもち表現することができる力を身につけさせ、体育的活動では、健康であることを第一として、運動能力がバランスよくなるように日々、体力向上の取り組みを実践していく。学びの環境を支える取り組みについては、子どもたちがICTを主体的に活用し、情報活用能力を高めていく。読書活動では、児童にとっての貴重な経験の場になるため、数多くの本に触れる機会を大切にしていく。これからも変化の激しい時代にたくましく自分らしさを発揮し、幸福な人生を歩み通していくための土台づくりができるように笑顔で楽しい学校づくりを目指していく。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- ①令和11年度末の学校アンケート調査の「学校が楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ②令和11年度末の学校アンケート調査の「学校や学級でのきまり(学びの基本)を守っている」項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ③令和11年度末の学校アンケート調査の「自分には良いところがある」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ④令和11年度末の学校アンケート調査の「困った時に相談できる友だちがいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

⑤令和11年度末の学校アンケート調査の「友だちは自分のことを良く分かってくれる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

⑥令和11年度末の学校アンケート調査の「自分は友だちを大切にしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

①令和11年度末の学校アンケート調査の「自分の考えを表現することができる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

②令和11年度末の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和7年度より0.5ポイント向上させる。 ※全国平均を1とした時の割合

#### 【学びを支える教育環境の充実】

①令和11年度末の学校アンケート調査の「学習でタブレット端末を進んで使うことができる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

②令和11年度末の学校アンケート調査の「知りたいことをインターネットで調べることができる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

③令和11年度末までに教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

### 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

#### 【安全・安心な教育の推進】

① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.1%以上にする。

②小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

①小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント※向上させる。

※全国平均を1とした時の割合

②全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.04ポイント向上させる。

※全国平均を1とした時の割合

#### 【学びを支える教育環境の充実】

① 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

②時間外勤務時間について、年720時間以上実施する教員をゼロにする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立加美東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.1%以上にする。 ② 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</b> ・いじめや不登校、問題行動、児童虐待に関して、保護者と地域、関係諸機関と連携し、未然防止及び早期発見に努める。発生事案については、個に応じた対応・解決へ向けて組織的に行う。また、児童理解の場を通じて教職員間で情報を共有し、指導の方向性を一致させて行う。	
<b>指標</b> ・アンケート調査で把握したいじめ事案について、聞き取りを行い相手との話し合いの中で指導を行い問題解決した割合を100%にする。 ・学校アンケート〔児童用〕「学校が楽しい」、〔保護者用〕「子どもは楽しく学校生活を送っている」の項目について、肯定的な回答割合を80%以上にする。	
<b>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</b> ・安全で安心して活動できるよう、施設の整備とともに、行事の精選や学校のルールを改善する。	
<b>指標</b> ・学校アンケート〔保護者〕「学校は子どもの安全確保に努めている」の項目で、肯定的な回答割合を90%以上にする。 ・学校アンケート〔児童用〕「学校や学級でのきまりを守っている」の項目について肯定的な回答割合を80%以上にする。	
<b>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</b> ・人権教育の校内研修を年1回以上実施し、校外研修に年2回以上参加し、人権教育に基づき学級活動中心に集団育成を行い、一人ひとりが居場所のある学級をつくる。	
<b>指標</b> ・学校アンケート(児童)「将来の夢や目標をもっていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「自分にはよいところがあると思いますか」の項目で、肯定的な回答割合を80%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

## 大阪市立加美東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>①小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント※向上させる。 ※全国平均を1とした時の割合</p> <p>②全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.04ポイント向上させる。 ※全国平均を1とした時の割合</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【<b>基本的な方向4、だれ一人取り残さない学力の向上</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめるとともに、基礎・基本的な内容の定着を向上させる。</li> <li>・自分の考えをもち表現することができる力を身につけさせるように日々の授業力向上に取り組んでいく。</li> <li>・公開授業や研修等を計画的に実施し、教員の指導力を向上させる。また、授業づくりの工夫を図り、児童の表現力を向上させる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年調査における算数科の平均正答率を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</li> <li>・学校アンケートの「自分の考えを表現することができていますか」の項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> <li>・学校アンケートの「本を見たり、読んだりすることが好きですか」の項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【<b>基本的な方向5、健やかな体の育成</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動を積極的に取り入れた体育科の授業展開を工夫し、友だちと一緒に活動する楽しさを味わわせ、運動に対する意欲を高める。自分の身体や健康に対する意識を高める。</li> <li>・学級での体育や休み時間、集会活動の中で、運動に対する意欲を向上させる。</li> <li>・学期に1回健康チェック週間を設定し、健康に対しての意識を向上させる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校アンケートの「体を動かすこと(遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> <li>・健康チェック週間におけるアンケートの「昨日の夜は、早く寝ましたか」「外で遊んだあとや、ごはんを食べる前に手をあらいましたか。」「はんかち、ティッシュを持って来ていますか」「よい姿勢を心がけましたか」の項目で、肯定的な回答の</li> </ul>	

割合を前年度より増加させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

## 大阪市立加美東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>①小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>②時間外勤務時間について、年720時間以上実施する教員をゼロにする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【<b>基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に子どもたちがICTを主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高めるとともに、子どもたちの表現力や学びに対する主体性の向上につなげる。</li> <li>1人1台端末の環境を活かし、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取り組みを行う。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校アンケートの「学習でタブレット端末を役立てることができる」の項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> <li>「知りたいことをインターネットで調べることができますか(3～6年)」の項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【<b>基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時差通勤制度を有効活用する。</li> <li>年間授業時数を調整(40分授業や各学年の週授業時間数を1時間削減)し、放課後の時間を確保する。</li> <li>ゆとりの日(会議なし、18時まで退勤)を月2回以上設定する。</li> <li>学校閉庁日については、夏季休業期間中は5日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては3日以上設定する。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員の一人当たり平均時間外勤務時間の累計平均時間を45時間未満にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	